



大阪府PTA協議会

第21回

広報紙コンクール表彰式

広報紙づくり講習会

日時：令和7年5月10日（土）

13：45～16：30

会場：大阪府教育会館 たかつガーデン

コスモス

◆◆ 次 第 ◆◆

1. 開会あいさつ

2. 広報紙コンクール表彰式

(1) 表 彰

(2) 講 評

大阪府PTA協議会 広報紙コンクール選定委員

ジャーナリスト 細見 三英子

3. 広報紙づくり講習会

大阪府PTA協議会 広報紙アドバイザー

立石 隆則

4. 閉会あいさつ

令和6年度 大阪府PTA協議会 第21回 広報紙コンクール 入賞団体



《 印刷部門 》

◆小学校の部◆

- 金 賞 ☆堺市立 野田小学校PTA 「広報のだ」
 銀 賞 ☆豊中市立 少路小学校PTA 「令和6年度 少路小PTA 年度末活動報告」
 銅 賞 ☆泉大津市立 穴師小学校PTA 「穴師小学校の広報誌 -Serendipity-」

部門賞

- 大喜利賞 ☆堺市立 美木多小学校PTA 「みたまのもり」
 PTA再発見賞 ☆池田市立 緑丘小学校PTA 「みどりっこ」
 みんなが主役で賞 ☆守口市立 金田小学校PTA 「きんだ」

◆中学校の部◆

- 金 賞 ☆吹田市立 第一中学校PTA 「吹田一中」
 銀 賞 ☆豊中市立 第十一中学校PTA 「藁」
 銅 賞 ☆豊中市立 第三中学校PTA 「PTAだより」
 銅 賞 ☆箕面市立 彩都の丘学園PTA 「彩都の丘学園PTA新聞 丘からの風」

◆PTA協議会の部◆

- 金 賞 貝塚市PTA協議会 「つくし」
 銀 賞 田尻町PTA連絡協議会 「広報ふれあい」

《 WEB部門 》

- 金 賞 ☆東大阪市立 新喜多中学校PTA 「新喜多中学校PTA広報」
 銀 賞 和泉市PTA協議会 「令和6年度和泉市PTAだより」
 銅 賞 ☆泉大津市穴師小学校PTA 「穴師新聞」
 敢闘賞 ☆東大阪市長堂小学校PTA 「ちようどうPTAだより」

※印刷部門の小学校入賞の6校・中学校入賞の4校、WEB部門入賞の内3校（☆印）は
 （公社）日本PTA全国協議会広報紙コンクールに推薦いたします。

令和6年度		応募数	入賞数
印刷部門	幼稚園	0	
	小学校	17	6
	中学校	13	4
	協議会	2	2
WEB部門		4	4

令和 6 (2024) 年度 広報紙コンクールの審査に参加して

ジャーナリスト 細見 三英子

大阪府広報紙コンクールは 21 回を数えました！

毎年春（年度初め）のこの審査会に参加させていただく度に、思い出す言葉があります。

『年々歳々 花相似たり 歳々年々 人同じからず』（唐の詩人・劉延芝）

移る人の世と、変わらぬ自然を対比したこの歌を、私は、花は毎年同じように美しく咲いて人々を励ましてくれると、花に会う喜びを歌ったものと（勝手に）解釈して、皆さんの作品を楽しませてもらっています。

今年は特に、小学校の作品が楽しかったです。

- ① 校内のリサイクル活動（例えば、カートリッジや制服等）を紹介した記事は、地球環境や SDGs に関わる学校の姿を知らせてくれます。そういえば「モッタイナイ（MOTTAINAI）」という日本語をワールドワイドにしたのは、ノーベル平和賞（2004 年）を受賞したワンガリ・マータイさん。彼女はケニアで 5100 万本の植樹運動を主導しました。地球課題につながっているという意識は素敵です。カートリッジの集計金額まで事後報告されていて、お得感もありました。
- ② 支援学級の活動を、単なる職員紹介にとどめず、しっかりと報告した紙面は、相互理解を深めて、充実していました。
- ③ PTA の活動報告に絞った広報紙もありました。その中にズバリ「PTA 活動に期待する事アンケート」があって、全体の 8 割が好意的に回答しました。その理由は「学校ポイントがたまる」「学校の様子がわかる」「楽しめる」「知り合える」「子どもと一緒に参加できる」等々。捨てたもんじゃありませんね（ところで、ポイントとは？）

- ④ 社会見学や職場体験、宿泊学習など、呼び方は時代によって変わっても、子どもたちにとっては一大イベント。ある学校の1年生の社会見学は、おっかなびっくりのリス園訪問。3年生は未来のビッグ・バン体験。4年生は伝統のお茶会参加。しびれに耐え切れず中腰で抹茶を味わう彼らの姿を、見事にとらえていました。

中学校では、広報紙を生徒たち自身にもっと読ませたい、という思いを感じさせる編集がありました。

- ① たとえば、クラブ紹介は、子どもたち自身が語りました。男女比を記すクラブもあれば、無しのクラブもある。その中で、様々な気づきが生まれるはずです。
- ② 盆踊りは、大きく広がる難しい企画を編集者は確かなアングルでとらえており、紹介文も読みやすかった。企画した子どもたちも大満足でしょう。
- ③ 先生から卒業生に贈る言葉は、先生任せ(!)にすると平凡になりがち。だから敢えてインタビューと写真でまとめ上げたのはお見事です、会長!!
- ④ ハッピーな印象的な卒業写真、どうやったらとれるのか聞きたい、と思った作品も。

WEB との競作という試みについて。

- ① 紙でも WEB でも広報紙作りに挑戦した学校がありました。競作によって、どちらも読みやすい企画、レイアウトになっていました。紙面作りの工夫がWEBにも生かされるということでしょうね。
- ② と同時に、WEB 作品では全体の構成をどう提示するか（スクロールにまかせていていいのか）、また、アクセスしやすい仕組みにするための工夫なども必要と感じました。

入賞団体の 講評

広報紙アドバイザー 立石 隆則

《小学校の部》

金賞「広報 のだ」 堺市立野田小学校 PTA

紙面改善に取り組む 子どもたちに関わってくださる方々を紹介

部門賞→銀賞→金賞受賞と 3 年連続入賞。進化の特徴は、自前の記事の充実。すべての記事に適切で個性的な見出しがあることも魅力的です。目玉は、子ども達に関わってくださる方々を取り上げたこと。スクールカウンセラーのページでは、子どもに学校に行きたくないといわれた時の対処法を ・行き渋りのとき ・行きたくない理由を言いたがらないとき ・理由を言ってくれる一場合ごとに解説。スクールソーシャルワーカーでは「スクールカウンセラーとの違いは？」「学校にとってスクールソーシャルワーカーとは？」等の Q&A 形式で紹介。「見守り隊」の活動を詳しく知らせるとともにメンバーのメッセージや修学旅行の出発式での見送りの様子をレポートするなど大変行き届いた記事です。紙面は、全体としてとても美しく調和の取れた仕上がりです。

銀賞「令和 6 年度少路小 PTA 年度末活動報告」 豊中市立少路小学校 PTA

50 周年を機に、もっとつながろう 活動の見える化で身近で親しみのある PTA へ

親近感・信頼感であることが実感できる紙面です。創立50周年記念事業を担当した役員会の集大成として、役員会責任編集により1年間の多彩な取り組みを多彩な表現で総括しています。役員アンケートのうちで「やりがいがあった度合いは？」—平均4.5点。「やっぱり得るものあり!」「ちなみに満点の5点評価が最多でした!」のコメントが効いています。「一緒に活動を創り上げていく中で、役員同士の人柄が自然とわかり、尊敬・信頼できる大人のつながりができたことに大変感謝」との意見も。紙面の末尾の教頭先生のコメント—「みんなの想いを具現化するためにマンパワーが炸裂した1年でした。お疲れさまでした。そしてこれからもよろしくお願いいたします」が、秀逸と感じました。紙面の上下の欄外のスペースに運営委員会メンバーからのメッセージが挿入されていて、PTA を応援してくれる人々に響く取り組みだと感じました。

銅賞「穴師小学校の広報誌-Serendipity-」 泉大津市立穴師小学校 PTA

PTA の活動って大変そうって思われなくようにしたい

3 年連続金賞受賞の後の銅賞受賞。Web 部門でも銅賞受賞しています。広報紙の改革から始まった PTA 組織改革は、「穴師小の PTA は適当である」と言い切るところまで到達しています。「条件・目的・要求にうまくあてはまる」「無理なくできる範囲であればよい」「臨機応変に加減することができる柔軟な組織」——が適当であるということなのですね。シンプルでスリムな PTA を目指して組織改革されてきて、3 年前に 57 名いた役委員が次年度に 15 名になり昨年は 2 名以上の運営実務クルーのみになりました。途中「PTA 会長を廃止したので入学式には出席しなくなりました」と聞いた時には驚きましたが、5 役も「・・・長」もいません。出来事記事はほとんどなく、親しみやすく読み応えのある自前の特集記事ばかりなのが素晴らしい。PTA 改革の実践は続きます。きちんと取材をしてしっかり記事を書く姿勢にジャーナリズムを感じています。

大喜利賞「みたまのもり」 堺市立美木多小学校 PTA

あつまれ大喜利の森 みきたっ子応援団誕生

従来 4 つの専門委員会が組織されていたのが、専門委員会を 1 つにした「みきたっ子おうえん団」(みき団) が誕生しました。8 人のメンバーで広報紙作成も分担されています。1 号の扉頁を捲ると「先生ありがとう」の題字に花束を胸に微笑まれる先生方が 14 名。離任される先生方からコメントをいただきました——これは珍しい取り組みですね。珍しいといえ、フロントページには、入学式と卒業式の写真が掲載されていて「入学 卒業 おめでとう」の見出しが躍っています。とても好印象でした。校長先生・教頭先生、先生方全面協力の大喜利コーナーも大きな盛り上がりを見せています。紙面に大喜利のお題を載せて回答を募集し、図書室前の応募箱に集まった作品をみき団で選考しました。双方向コミュニケーションで広報紙への関心が増々高まっています。

PTA 再発見賞「みどりっこ」 池田市立緑丘小学校 PTA

原点回帰 子どもたちのための広報紙 家族の会話につながる紙面

「堅苦しい紙面にならない」ことにこだわり、ポップなカラーを使い、子どもたちにも答えやすいクイズやアンケートを盛り込み、学校長や PTA 会長を紹介するコーナーを設け、多くの人に読んでもらい PTA 活動への協力や理解につながる紙面を目指しています。(応募紙のアピールより)「池田市にある小学校の中で、何番目に児童の人数が多い学校?」「みどりっこトープの中にお魚はなんでしょう?」——子どもたちにも親しみやすいクイズが楽しめます。「1 年生のみんなにききました」「ランドセルは何色かな」もとっても微笑ましい。「山本 PTA 会長ってどんな人?」でも「なんで PTA 会長になったの?」「PTA 会長になって良かったことは?」「これから PTA でどんなことをしてみたい?」——この辺りの率直な問いかけが「PTA 再発見賞」につながったと思います。今後の協力や理解につながる可能性を広げたと思いました。Good Job!!

みんなが主役で賞「きんだ」 守口市立金田小学校 PTA

外五つ折りでワイドな編集 魅力的な学級集合写真

A4 建て一連 5 ページ裏表の紙面で、計 10 ページの栞風に仕上げられています。最大 A4 版 5 ページが一挙に閲覧できるため、とてもワイドな編集が可能になります。このことにより変化に富んだ紙面づくりの工夫がされています。運動会特集は 5 ページ連続、卒業記念特集は 4 ページ連続で迫力もあり繋がりも感じられて大変結構でした。参観日や学校公開などの行事を一覧できるのは魅力的です。紙ならではの工夫でとても好印象でした。7 月発行の紙面では、全学年・学級の集合写真をそれぞれの学年目標とともに掲載しています。3 月の紙面にもすべてのクラスの担任の先生の懇篤なメッセージと集合写真が載せられています。1 年間の子どもたちの成長を感じることは勿論、卒業生だけではなくすべての子ども達を主役にする心意気も感じられました。

《中学校の部》

金賞「吹田一中」 吹田市立第一中学校 PTA

独自の取材と自前の記事 一中のええとこ

今年もチャレンジングな紙面です。一昨年度の銅賞受賞に引き続く、栄えある 2 年連続金賞。年間 4 号発行されました。1 号目は 4 月 25 日の参観日を睨んで、4 月 24 日に弾丸発行した教職員紹介号。速報を実現するには周到な計画と正確な編集が不可欠で実行力に脱帽です。一中フェスタと運動会を取り上げた 3 号目は、圧倒的な質と量の写真が特徴的です。写真の大きさと形を工夫し、デザイン性を考慮した配置になっています。特に右向きの写真を紙面の左端に、左向きを右端に置くなどして、紙面を安定させているのは流石です。写真の枠色にも工夫があり読者を飽きさせません。卒業記念号は、A4 横版 12 ページの特別編集。表紙・裏表紙には、3 年生学年集合写真とともに藍色に白抜き文字で先生方の手書きメッセージがびっしりと。ワイドな編集で大変迫力がありました。今年も Good Job と申し上げたいと思います。

銀賞「葉(ひこばえ)」 豊中市立第十一中学校

明るく楽しいイメージに 頑張る人ひたむきな人を知って欲しい

葉は、伐採した木の株から出た芽のことで、新しい芽がやがて大木になるように子ども達がすこやかに成長することを願って命名されています。府 PTA 協議会広報紙コンクールが創成のころ、「葉」は毎年のように日本 PTA 全国協議会広報紙コンクールへの推薦を獲得されていました。当然、全国入賞の経験もあります。近年、大阪のコンクールで入賞するたびに私にとっては、「古豪復活」のイメージが強くなります。今回の出品作の特徴は、バランスの良さ。特に色味の美しさに強みがあります。特に 1 号目のフロントページ。入学式での新入生の起立写真の美しさは勿論ですが、校長先生・PTA 会長の文章の背景に施された春らしい色に感心しています。このセンスは職員紹介やクラブ紹介のページにも生かされています。特に見開きの中央にクラブ写真を集めて左右に文章を配置するデザインと背景の色合いに魅了されました。

銅賞「PTA だより」 豊中市立第三中学校 PTA

特集記事常に読者の気持ちを 推し活するなら広報委員

2号特集記事―「教えて！三中 PTA 活動」が読み物として素晴らしい。PTA 役員・5 委員会委員 36 名を対象に「本音アンケート」を実施。半数以上が複数回の役員・委員経験者で「リピーターの方に聞きました！ PTA 活動のメリットは？」について質問。「学校の様子がわかる。先生とコミュニケーションが取れる。体育大会で撮影できるとメリットだらけです。2 人目の今回は 3 年間広報委員会に参加して、子どもの今をたくさん感じて過ごしたいと思っています」（4 回目・広報委員）「学校や子ども達の様子を見たり聞いたりできて助かっています。我が子からはあまり情報が入ってこないの…。また PTA で学校に行くと意外に(?)我が子が喜んでくれます」（2 回目・生活指導委員）そして各委員会のお仕事紹介記事の見出し―「推し活するなら広報委員会」。

銅賞「丘からの風」 箕面市立彩都の丘学園 PTA

子どもたちの 1 年間の思い出が詰まっています

昨年の部門賞に続いての銅賞受賞です。例年通り、発信力・編集力は非常に高い。宿泊行事や校外学習などの行事だけでなく、クラブ活動や普段の授業風景など、本当に多彩な写真と記事が掲載されています。彩都の丘学園は大阪府で 2 校目の小中一貫校として 2011(平成 23)年 4 月に開校しました。その後学園は、街(彩都西駅周辺)が大きくなると同時に、大グラウンドや西側の新校舎ができるなど成長してきました。現在、府下各地で展開されている義務教育学校・小中一貫教育の先駆けといえます。前期 4 年(学級担任制 楽しくわかる学習)、中期 3 年(段階的教科担任制 専門的学習)、後期 2 年(自主・自立に向けた学習)とカリキュラムや指導体制も練り上げられてきました。紙面では、子ども達と先生方の空気感を生かした写真が満載です。PTA 紹介ページも仕事内容が過不足なく簡潔にまとまっていて秀逸です。

《PTA 協議会の部》

金賞「つくし」 貝塚市 PTA 協議会

親しみやすい「つくし」5 年連続入賞

銀賞・銅賞・銅賞・銀賞に続く 5 年連続受賞。遂に金賞受賞です。柔らかな印象の題号と同じく、優しく親しみやすい紙面です。それぞれの学校園の紹介記事が丁寧につづられ、特色や課題が紹介されています。「教えてください！おうちのルール！」(子ども達の日常生活における家庭でのルールや習慣についてのアンケート調査)は、中学生・小学生・幼稚園児のそれぞれの年代に寄り添ったアンケート調査です。アンケートのまとめでは、「調査結果からは保護者の子育てにおける柔軟性と金銭教育や生活習慣に関する意識の高さがうかがえます。しかし高学年における門限遵守率の低下は、親子間のコミュニケーションの重要性(の認識)が必要だと思いました」と指摘は的確です。読者に判断する材料を提供する一広報紙の基本に忠実な編集だと思います。

銀賞「広報ふれあい」 田尻町 PTA 連絡協議会

格調高く 親近感・安心感のある紙面

紙面のフロントページ、題号の下には「教育を通し親と子がやさしく成長できる街…田尻町 PTA がお届けする広報紙」と明記されています。田尻町教育長、PTA 連絡協議会会長、小中学校教頭先生、認定こども園副園長先生方揃い踏みで巻頭言と各校園の取り組みの報告からは、格調高く安心感のある様子が伝わってきます。「お湯をはり いちばんふろの そうだつ戦」(中学2年)「父のぐち わたしに言うな お母さん」(小学校3年)「毎日の おれの目覚まし 父の声」(小学校6年)。家族を題材とした「たじりっ子川柳」ではたくさんの小中学生から応募があり、大好きな家族への思いや日常生活の一場面を描いた川柳はどれも面白く心温まるものです。(応募紙のアピール) 親しみやすさが溢れています。親近感・信頼感に通じることがよくわかる紙面です。

《WEB 部門》

金賞「新喜多中学校 PTA 広報」 東大阪市立新喜多中学校 PTA

スマホの縦スクロールに合わせて構成

東大阪市の学校園では、令和6年度から学校園連絡アプリ「校支援」が導入され学校からのお知らせやお手紙が配信されています。新喜多中学校の PTA 広報紙も web 配信に切り替えられました。入学式・修学旅行・着付け体験教室(家庭科授業)・運動会などの行事や取り組み、地域を巻き込んだ「フラワフェスタ」、PTA 成人文化活動「肉まん・焼売 手作り体験」など写真を中心にレポートしています。

銀賞「令和6年度和泉市 PTA だより」 和泉市 PTA 協議会

印刷部門5年連続金賞受賞の実績

印刷部門での入賞常連で、特に最近5年連続金賞受賞の実績があります。印刷部門のころからの10中学校区の紹介ページが特色で、丁寧に取り組みを紹介しています。Web 発行に切り替わったことで、一層プライバシーに配慮した PTA 活動・行事写真の掲載許可など、それぞれの単位 PTA の試行錯誤があり、そのことが伝わるページ作りが行われました。表紙は和泉中学校美術部の子ども達の作品です。

銅賞「穴師新聞」 泉大津市立穴師小学校 PTA

広報紙との役割分担を明確に

印刷物の広報紙との役割分担をはっきりさせています。紙の紙面には出来事記事は、ほとんどありません。PTA 会議の議事録として Web 版に掲載されています。上靴忘れの対応の啓発記事や上靴寄付のお願い等、簡潔で極めて実務的です。PTA は、シンプルに「子ども」と「学校」と「保護者」をつなぐツールであるとの思いが込められています。シンボルの楠が毎号のナンバーに使用されているのが好感されます。

敢闘賞「ちょうどう PTA だより」 東大阪市立長堂小学校 PTA

読んで明るい気持ちになるように

5 月の運営委員会報告、夏イベント号、冬イベント号、3 月の年間振り返り(2 月運営委員会報告)を掲載。さらに信号機設置のアンケートについて詳しく報告されています。要望の結果、令和 8 年 3 月から信号機の運用開始が決まるなど具体的な成果が伝えられました。学校行事や PTA のイベントを中心に PTA 活動がどのように地域や保護者とつながっているかを認知してもらうことを目指しておられます。

(以上、入賞校・団体ごとの講評は、広報紙アドバイザー立石隆則が行いました。)

大阪府 PTA 協議会
広報紙コンクール《ワンポイントアドバイス》&広報紙講習会資料

2025/5/10 Sat. たかつガーデン コスモス

広報紙アドバイザー 立石 隆則

1. 大阪府 PTA 協議会主催の広報紙コンクールについて《意義》

- ・「啓発と普及」「交流重視」・・・それぞれの PTA の取り組みを持ち寄り、学習します。
- ・府 PTA 協議会が推奨する広報紙作品を明らかにし PTA 活動としての広報委員会活動を啓発し普及します。選出される作品は大阪府 PTA 協議会一押し、お勧めの作品となります。
- ・日本 PTA 全国協議会主催 PTA 広報紙コンクール 1 次審査(都道府県予選)としての任務があります。

2. 優れた紙面から学ぶ

1. 報道性に優れている紙面

→学校・子どものことが良く分かる、PTA の動き・様子がきちんとつかめる

- ・美木多小学校
- ・豊中第十一中学校

2. 特集の企画が優れている紙面

→PTA 会員の興味や関心に合致している

- ・豊中第三中学校
- ・金田小学校

3. 編集面の習熟・工夫があり、バラエティーに富んでいる紙面

→読みやすく、見やすく、分かりやすい

- ・吹田第一中学校
- ・野田小学校

4. 親近感・充実感がある紙面

→主観・偏見を排して、親しみやすく読みごたえがある

- ・緑丘小学校

5. 情報紙としての性格を併せ持っている紙面

→役に立つ広報紙、保存しておきたい

- ・彩都の丘学園

6. PTA の機関紙としての役割を担っている紙面

→保護者（PTA 会員）を広く強力に組織する

- ・穴師小学校
- ・少路小学校

3. PTA 広報紙の到達点

- ・堺市立野田小学校 PTA
- ・吹田市立吹田第一中学校 PTA

4. PTA 広報紙の現状—打開のカギは

《広報紙の現状》

- ・「広報紙は、子どもたちと親と学校、地域という最もつながりにくい関係をつなぎます。また、文字と写

真、イラスト、レイアウトという手作りの技術でそれらを表現し、その上、成果物（広報紙）としばし対峙する喜びを与えてくれます。人間らしい交流を体験させてくれる癒しの存在。ますますなくてはならない媒体なのです」（広報紙コンクール選定委員フリージャーナリスト 細見 三英子先生）

・地域ごと学校ごとの特色を反映させることは PTA 広報紙作成の醍醐味です。

・一方、広報紙の「二極分化」や学年進行につれて PTA 活動は「仕事がないことが売りになる」傾向もあります。本コンクールへの出品数の減少傾向を見ても、PTA 活動としての広報委員会に課題があると思われ、コロナ禍での行事が抑制される中、報告型広報紙の行き詰まりが鮮明になった一面もあります。

・私は、現状打開の対策として一貫して、「まず自前の記事をしっかりと書く→記事を象徴する見出しを考え抜く→適切で特徴的な写真を厳選する」プロセスを提唱してきました。しかし前述のように「ともすれば行事や運動会の写真に偏りがちな紙面の中で」、過剰な数の写真が掲載されることも少なくありません。工夫された見出しや記事もなく、同じ形・同じ大きさの写真が延々と掲載されている紙面もあります。また、記事ではなく写真によって行事や取り組みの過程を紹介しようとする例もあります。写真をたくさん載せることが、分かりやすく親しみやすい紙面への方法であるといった誤解も根強いです。見出し・記事・写真のバランスが何よりも大切です。表現力を高め、変化に富む紙面を目指していただきたいと思います。

《打開のカギ》

1. 「広報委員は読者の代表」⇒自分が読者として読みたいものを追求。
2. 前年通り、今まで通りをやめる。

⇒例えば、挨拶文をインタビューに変え、発行時期と回数を見直す。運動会にはドキュメンタリー風の記事を。新しい企画やチャレンジで、報道性・企画性・親近感（親しみやすさ）を高める。挨拶・報告中心の紙面、依頼原稿ばかりの紙面から脱却して特集記事を積極的に。→PTA 会員の興味関心に寄り添うことに。

→ 読みやすく、読みたいものを 手作りで

3. 課題は「一生懸命作っていることが伝わる表現力」

⇒楽しい広報委員会を組織。委員さん一人一人の持ち味を引き出す取り組みを。

（ICT の活用に堪能な人、イラストが得意・絵心のある人、顔が広く社交的な人、様々な持ち味を発揮してもらおうことが肝要）

⇒見出し・記事・写真のバランス 表現力を高めましょう。写真をたくさん載せるだけでは紙面が平板に→紙面の変化に重点を置く。



まず自前の記事をしっかりと書く

記事を象徴する見出しを考え抜き、適切で特徴的な 1 枚の写真を厳選する

新聞の編集レイアウトの基本

①全体をイメージしバランスよく

集めた記事を紙面に割りつけることを編集レイアウトと言います。新聞づくりは、最初に紙面全体の出来上がりのイメージがなければうまくいきません。

文字ばかりという印象にならずに読みやすくする本文文字量は、紙面の50%~60%程度。題字と題字下、見出し、写真、図表、カットまんが、ケイ線などが結構なスペースを占めます。新聞は速読が基本ですから、文字情報量と見栄えのバランスが大切です。

縦書きの新聞は、右上から読み始めるので、1ページ目の右上がトップ記事。編集者が一番大切だと判断した記事をトップに置きます。2番手はトップに続く中央から左下へ向かう記事。3番手は左上、4番手は右下となります。

②新聞は3度読ませる

読者が紙面を手にしたとき、真っ先に視線に飛び込んでくるのが見出しです。見出しから、何を書いてあるのかを知り、読んでみたいなど関心を持ちます。見出し文字は目立つよう、スペースを取って大きくし、書体（フォント）、線の太さ、位置取りなどをさまざまに工夫します。

次に読者はリード（前文）を読んで記事全体の概略、要約、結論を知ります。トップ記事や長い記事につけると効果的です。

一般に、リードには「通し組み」という技法を使います。たとえば1段が11字詰めの基本組みなら2段以上を取り、字詰めを増やして書きます。さらに天地左右に空きを設けたり、線で囲んだり、書体を変えるなどして、本文記事と区別します。

読者は見出しとリードに導入されて、さらに本文を読み、詳しい内容を知るのでした。

③レイアウトは押さえて流す

新聞のレイアウトは「隅から、端から、下からつくる」のが基本です。連続もの、連載など定位置に置くもの、四角にまとめたハコもの（箱物）を周辺に置き、最後に右上から左下にトップ記事を流していきます。このような新聞レイアウトの基本的な方法を「押さえて流す」と言います。

ポイントとなるハコものには主に、タタミとカコミがあります。

見出しづけは編集の真髄

ふだん新聞を読むとき、何気なく見出しから読み始めます。大きい文字で書体もいろいろ、背景に模様がつけられていたり、紙面上でたいへん目立つ存在ですから当然でしょう。見出しだけ読んで、本文を全部読んだ気になってしまうことさえあります。

読者の視線と関心を引き付け、読む気を起こさせ、本文の内容を知らせる——見出しの果たす役割は絶大です。

紙面を作る側からすれば、見出しづけは、読まれる紙面に仕上げられるかどうかの分かれ目でもあり、編集作業の真髄と言ってもいいほどです。

①記事がそこから始まる目印

本来、見出しにはどのような役割があるのでしょうか。

まず第1に見出しは、そこに記事があることの目印だということです。読者は見出しがある場所から新しい

記事が始まることを知ります。もし見出しがなかったら、どこからどこまでが1本の記事なのかわかりません。つまり、どんなに短い記事にも見出しをつけるのが鉄則です。

②内容を凝縮し読む気にさせる

第2に、記事の内容を要約し、一目でわかる、読む気を起こさせる、という役割です。見出しが読み手の関心を引きつけなかったら、せっかくいい記事でも読まれない可能性があります。その記事で読者に伝えたい最も重要なポイントを短い言葉で書いたのが見出しです。

見出しのつけ方

①名称よりも内容

②複数の見出しでメリハリつけて

③基本形をもとに自由に表現

○主（本）見出し

記事の最も重要な内容、要素をズバリ言い切る。最低限これ1本でも成り立つ（7～9文字が適当とされる）。

○柱見出し

「〇〇〇について」のような全体の概要、テーマ、表題を示すもの（10字前後）。柱見出し1本だけでは足りない。

○肩見出し

主見出しの肩にかけるようにつけ、記事内容の特色を表現（8字前後）。

○ソデ（脇）見出し

主見出しの次にくるもので、副次的要素を表現する（9～11字）。

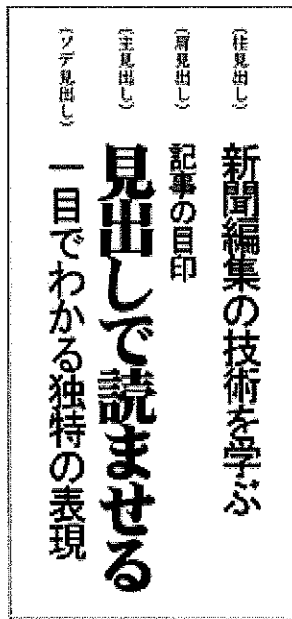
○小見出し

本文中に本文文字より少し大きく太い文字で入れる（10字前後）。とくに長い記事の場合、読んでもらうには欠かせない。

④短く、わかりやすく

⑤客観見出しと主観見出し

見出しの基本形



チドリにすると
優しいイメージ

2行見出しは
字数そろえて

表情や動きのある写真に

写真1枚が伝える情報の豊かさと臨場感は、100行の文章よりもよほど説得力があります。編集者は、紙面企画の段階から、どんな写真が効果的で相応しいかを考えましょう。

人物写真では、表情や動きをとらえられるよう、できるだけ近づいて撮ります。会議や集会の写真は動きがないので、参加者が笑ったり、拍手をしているタイミングを狙いましょう（難しいのですが）。

頭の部分はカットすることもあります。あごの部分を切り取ると誰の顔かわからなくなってしまいます。「頭は切ってもアゴは切るな」が原則です。

カメラマンはどんな紙面企画の写真なのかを意識しながらも、どんな紙面にも使えるように、さまざまな場面、角度から撮っておきましょう。

必ず写真説明を載せる

紙面レイアウトではまず、写真を配置してから記事を流します。

写真を何枚も載せる場合、どれも同じ大きさにするのではなくメリハリをつけた方が効果的です。メインの写真は大きく、左上または中央部に配置し、他は小さめにバランスよく置きます。大きな写真を下に置くと、重たい印象になります。

伝えたいテーマをより鮮明にするために、ときには写真をトリミングして必要な部分だけクローズアップします。

写真には写真説明をつけるのが鉄則です。何の場面か、誰が写っているのか、さらには本文にない補足説明を書くと、より多くの情報が伝わり、充実した紙面になります。実は、見出しと同じくらいよく読まれるのが写真説明なのです。

埋めぐさカットはダメ

イラスト、カット、漫画も目立つ存在です。写真のようなリアルなインパクトはないものの、紙面を柔らかくして、親近感を持ってもらえます。

レイアウトはできるだけ上部に、見出しと組み合わせると効果的です。記事の最後、空いたスペースに埋めぐさのように使うのはよくありません。記事の末尾を目立たせるのは逆効果で、最初の見出しに視線が集まるようにしましょう。

向きが肝心

写真やカットのレイアウトでは向きが肝心です。向いている方向が紙面の中央（カコミ記事ならカコミの中央）に向くように注意しましょう。紙面の右端に置くなら左向きの写真、左端に置くなら右向きの写真にします。その逆に紙面からそっぽを向いてしまうと、散漫な印象を与えてしまいます。

※参考文献

- ・全国小・中学校 PTA 広報紙コンクール優秀広報紙集 日本 PTA 全国協議会
→大阪府 PTA 協議会へご照会ください。
- ・朝日新聞の用語の手引き 朝日新聞出版 朝日新聞社
- ・なるほどデザイン MdN コーポレーション 筒井美希
- ・活版印刷三日月堂 ポプラ文庫 ほしおさなえ
- ・隠蔽捜査 9.5「審議官」 新潮社 今野敏
- ・隠蔽捜査 10「一夜」 新潮社 今野敏
- ・歴史のダイアグラム 1・2・3 朝日新書 原武史
- ・あきない世傳 金と銀 1～13, 特別巻上下 ハルキ文庫 高田郁

【広報紙作成上のどんなことでもご相談ください】

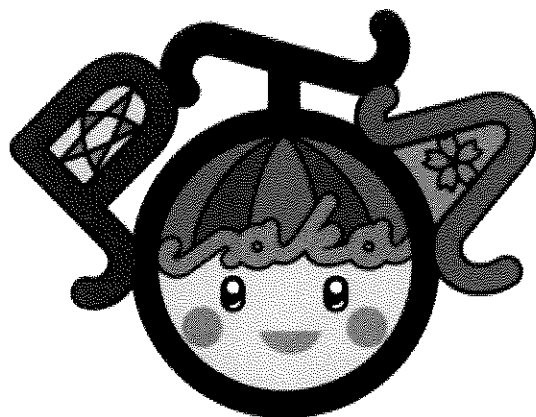
◎お問い合わせはどんなことでも・・・大阪府 PTA 協議会事務局

〒534-0025 大阪市都島区片町 2-2-40 大発ビル 301

TEL : 06-6949-8300 / FAX : 06-6949-8301 e-mail : tunagaru.fu.p@osaka-pta.jp へどうぞ。

◎立石隆則に直接ご連絡くださる場合は・・・e-mail:ritsuyan0225@gmail.com へメールください。(お返事しますのでドメイン拒否設定を解除しておいてください)

※編集上の困りごとのご相談をお受けします。広報紙全般に関するアドバイスも行います。お気軽にお問い合わせください。学校や地域に出向いての講習会も行います。ぜひご相談ください。



大阪府Pキャラクター「ピタマル」

大阪府PTA協議会 事務局

(開局時間:平日 10時~16時)

〒534-0025

大阪市都島区片町 2-2-40 大発ビル 301

TEL:06-6949-8300 FAX:06-6949-8301

E-mail:tunagaru.fu.p@osaka-pta.jp



大阪府PTA協議会ホームページ
<https://www.osaka-pta.jp/>